

女性が気軽に相談できる場を 「1 day女性だけの募集案内所」を開催

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は12月20日（土）、静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップで、1 day女性だけの募集案内所を開催した。

これは、女性の入隊予定者や志願者、保護者を対象に、女性自衛官が説明や懇談を行うことで入隊への不安解消や理解促進を図るもの。同イベントは昨年続き2回目の開催で、午前の部には12人、午後の部には5人が参加した。

まず女性自衛官が、入隊までの流れや準備、自衛官の処遇改善などについて説明し、陸上自衛隊女性教育隊の様子を動画で紹介した。

懇談では、陸海空の女性自衛官が参加者とテーブルを囲み、飲み物やお菓子を手に、砕けた雰囲気教育隊での生活や自身の経験などを語った。

参加者からは、入隊前の準備や職種の選択に関する質問があり、女性自衛官が同性の視点から、服装や持ち物の選び方、各種の特徴などについてアドバイスをした。懇談後も個別で相談する参加者の姿が多く見られ、女性自衛官と気兼ねなく話ができる貴重な機会となった。

静岡地本は、今後も女性が気軽に相談できる機会を設け、入隊者や志望者のサポートに努めていく。



個別説明



懇談



全体説明

第1回静岡リレーマラソンに地本隊員が参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は2月8日（日）、航空自衛隊静浜基地（焼津市）で開催された「第1回静岡リレーマラソン静浜ベース2026」に広報活動として参加した。

この大会は静岡第一テレビが主催し、静浜基地の特別協力により初めて開催されたもの。基地の滑走路を舞台に、1周1.9キロのコースをリレーマラソン形式で11周（ハーフ・ラン）もしくは22周（フル・ラン）する。

静岡地本チームはフル・ランにエントリーし、本部長以下有志10人が、QRコード付きオリジナルビブスを着て参加した。

当日は、スタート直後から強烈な追い風と向かい風が交互に選手を襲う厳しいコンディションとなり、折々では雪が舞う場面も見られた。地本チームは3時間16分を目標に各区间で粘り強い走りを見せ、約2分早い3時間14分44秒でフィニッシュした。

大会中はチーム関係なく「がんばれ！」という声援が飛び交い、ゴール後には互いの健闘を称えあった。

静岡地本は、今後もさまざまなイベントに積極的に参加し、地域との連携強化と自衛隊の広報活動に努めていく。

